

**P01a**            **野辺山ボロメータ・アレーによるブライトリム分子雲の観測**

杉谷光司（名古屋市立大学）、松尾宏（NRO）、仲野誠（大分大学）、田村元秀（NAOJ）、小倉勝男（國學院大學）

1997年1月にNOBA（野辺山ボロメータ・アレー）を用いてIRAS点源が附随するブライトリム分子雲で2mm連続波サーベイを行った。その結果、連鎖的星形成（Sugitani, Tamura & Ogura 1995）が起きていると考えられる5つのブライトリム分子雲で2mm連続波を検出した。形成された星に附随する星周物質の質量は～1-20太陽質量であり、近傍星形成領域や暗黒グロビュールで形成された低質量YSO（クラス0 or 1天体）に附随するものと比較するとかなり大きいことが明らかになった。また、形成された星のボロメトリック光度に対する星周物質の質量は、暗黒グロビュールに比べて～1-2桁大きくなっていることも明らかになった。これらは、ブライトリム分子雲における小さいスケールの連鎖的星形成の後期では、星形成効率が高まった結果、より質量の大きい星が形成されることを示唆しているものと考えられる。